

## 自己紹介、ディスカッションルール

[自己紹介] 各1分程の時間でおこなう。

自己紹介内容

- ・名前
- ・JCでの役職
- ・職業
- ・「実は〇〇です」という内容の一言

「実は〇〇です」自己紹介：自己紹介の最初に「実は……」で始まる内容を入れて話すアイスブレイク。「実は」をつけることでその人の意外な趣味や性格を知ることができます。そのため、自己紹介が面白く印象的になり、聞いた人はその人の秘密を知ったような気分になります。そのため、研修が終わったあとも「ジャズダンスを10年やってる秋田さん」というように、相手のことをしっかりと覚えることができます。

[ディスカッションルール]

「佐賀青年会議所が今、でくっことば考えてみよう」

今、佐賀青年会議所として地域に貢献できることやメンバーのビジネスに繋がるプランなどを出し合ってもらいます。

例) JCで運動会を行う。

JCでケータリングカーを作り貸し出す。

JC版ぐるなびを作る。

- ・実現可能・不可能は考えずにまずはアイデアを出していきます。
- ・出されたアイデアに乗って意見を出すときには、意見の否定ではなく提案を行っていきます。
- ・アイデアは模造紙に書き留めていきます。テーブルホストが記載のフォローを行います。
- ・出たアイデアに対し更に意見が出た場合は付箋紙を意見の周囲に足していきます
- ・最終的にテーブル内で最も良いアイデアだと思うものを発表します。

[進行]

ディスカッションは第一～第四ラウンドと全体セッションからなります。

- 1 第一ラウンド：メンバーを7つのテーブルに振り分けます。テーブルには模造紙、付箋とペンを用意します。各テーブルには1名テーブルホストが着きます。テーブルホストの進行の元、メンバーは順番に自己紹介を行います。

自己紹介後にディスカッションを行います。まずは、自分のアイデアを模造紙に書き、書き終わった方から自分の案を発表します。意見を自由にメモしながら話し合います。テーブルホストは進行、アイデアの記載の補助を行っていきます。

- 2 第二・第三ラウンド： 15分経過後メンバーは他のテーブルに移動します。その際テーブルには、テーブルホストだけが残り、他のメンバーは椅子に書いてある番号ごとに、他のテーブルに移動します。メンバーは自己紹介を行い、以前のラウンドでのアイデアを参考に改めて自分の案を発表します。
- 3 第四ラウンド：他のテーブルに散ったメンバーが最初のテーブルに戻り、移動先で話し合った内容や得た情報などとともに、さまざまな意見やアイデアを出し合います。
- 4 全体セッション：最後に各テーブルが発表を行います。テーマで議論された（模造紙に書かれた）意見の中で最も良いと思うアイデアを発表します。